

## エイジング社会の教養科目群

科目コード	OG133	科目名	ジャーナリズムと法B	科目群	第1群
担当者	服部 孝章 (ハットリ タカアキ)				
開講日程・時限	秋学期・木曜日・4時限	授業方式	対面	単位数	2単位
備考					
授業の目標	国などによる規制以上に市民社会全体に、表現活動への自粛が進んでいる。市民社会の民主化は衰退していることへの対応を考える。				
授業の内容	デジタル化の進展と、市民の自粛の連動が今後どのような状況を招くのかを推測し、あわせてあるべき姿を模索する。				
授業計画	第1回 4/10 記憶の外脳化とメディア 第2回 4/17 メディアの規制への無気力 第3回 4/24 GAFAのメディア支配 第4回 5/8 放送産業の斜場化 第5回 5/15 ジャーナリズムと法 第6回 5/22 米国の状況 第7回 5/29 日韓の状況 第8回 6/5 NHK ばなれの深化 第9回 6/12 NHK への期待はあるのか？ 第10回 6/19 受信料制度の行方 第11回 6/26 放送制度の変容 第12回 7/3 報道機関の将来像 第13回 7/10 日本のメディアの将来 第14回 7/17 まとめ、討論				
成績評価方法	平常点による評価				
講義中に直接使用する教科書	テーマに関連した新聞記事、参考文献等を配布する。				
上記教科書以外の参考図書	随時、紹介する。				
その他 (HP 等)					